

出差引額は、1億4千652万8千1円である。

(賛成多数で認定)

討 論

議案第44号 反対討論

平成28年度厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」を見ると、不安定な雇用形態の非正規労働者、厳しい生活状態の方が多い高齢者が被保険者となっている実態が伺える。結果として、被保険者証を持っていても、よほどのことがないと病院に行けないという切実な声も聞かれる。また、国保税を払えず資格証明書を渡される方が、日高市でも平成29年度で32世帯ある。

こうした現状は、国民皆保険制度の最終的な受け皿としてふさわしいものとは言えない。

日高市でも軽減分の繰入金など低所得者のための努力がされ、国の負担金の引き上げを継続的に要望してきているが、国が財政負担を削減してきたために、国保税負担は重くなっている。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第44号 賛成討論

国民健康保険制度は、医療保険制度の中核として、地域医療の確保と地域住民の健康維持増進のために重要な役割を果たしている。

本決算は、前年度決算と比べ、歳出では、保険給付費などが減少し、歳入では経営努力が認められ国庫支出金が増額したことなどにより一般会計からの繰入額は、減額となった。これは、財源の確保とともに医療費の適正化に努めた結果である、と評価するものである。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第45号)

平成29年度日高市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が、6億4千487万8千201円、歳出総額が、6億3千971万8千578円で、歳入歳出差引額は、515万9千623円である。

(賛成多数で認定)

討 論

議案第45号 反対討論

平成29年度分の後期高齢者

医療保険料は、28年度と同様、所得率が0.5%引き上げられ、高齢者にとって大きな負担となっている。改善のために、国が財政措置を講じて保険料の上昇を抑制することが必要である。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第45号 賛成討論

後期高齢者医療制度は、「埼玉県後期高齢者医療広域連合」が主体となり、市町村と事務を分担しながら運営されている。

本決算は、保険料の収納を適切に行うとともに、広域連合への納付を確実に実施しており、安定した財政運営に努力がなされたものと認めることができる。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第46号)

平成29年度日高市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が、39億358万6千939円、歳出総額が、36億7千494万6千616円で、歳入歳出差引額は、2億2千864万323円である。

(賛成多数で認定)

討 論

議案第46号 反対討論

介護保険料が県平均よりも抑えられるなど、市の高齢者施策の努力は認められる。しかし、介護保険の第1号被保険者の保険料が引き上げられたことにより負担は増え、28年度に比べて滞納繰越の収納率は45%下がり、不納欠損額、未納額も増えている。

このような問題を改善するためには、国が財政措置を伴った施策を実施することが必要である。昨年なかった国庫支出金の調整交付金が交付されたが、本来国が25%負担するべき財源が16.58%にとどまるように、現状ではそのような施策は不十分である。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第46号 賛成討論

本決算については、要介護・要支援認定者の介護サービス利用により給付された介護給付費や、介護予防・日常生活支援総合事業等のサービス提供に係る地域支援事業費などの内容をみると、いずれも効果的に執行されたものと認められる。

(賛成多数で認定)

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第47号)

平成29年度日高市武蔵高萩駅北土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が、8億3千530万5千532円、歳出総額が、7億829万8千982円で、歳入歳出差引額は、1億2千7百万6千550円である。

(全員賛成で認定)

(議案第48号)

平成29年度日高市水道事業会計決算の認定について

収益的収入及び支出は税抜きで、収入11億9千579万3千269円、支出10億7千218万7千566円で、収支差引1億2千360万5千703円の純利益である。

資本的収入及び支出は税込みで、収入1億4千791万4千399円、支出3億5千502万7千399円で、収支差引2億711万3千999円の資金不足となり、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金並びに建設改良積立金をもって補填した。

(全員賛成で認定)